

科目名	ロシア語4b	単位数	1単位	学期	後期
担当教員	水上 則子	実務経験の有無		×	
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-21-B-2-320220	国際学部B：高度な語学運用力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし、国際社会において協調的にネットワークを拡張していく意欲と能力を身につけていること			
授業の目的	高度な語学運用能力の習得を目指します。 ロシア語3に引き続き、文法、会話、作文に重点を置きます。				
学修到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の基本例文を完全に習得すること。 ・ロシア語の読み・書きに習熟し、話し・聞く能力と合わせて、実践的な語学力が身につくこと。 ・ロシア語の中級レベルの語彙を増やすこと。 ・やや複雑な内容を表現することができるようになること。 ・ロシア語学習の楽しさを実感すること。 				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	教科書 第30課 その1
第2回	第30課 その2
第3回	第31課 その1

第4回	第31課 その2
第5回	第32課 その1
第6回	第32課 その2
第7回	第33課 その1
第8回	第33課 その2
第9回	第34課 その1
第10回	第34課 その2
第11回	第35課 その1
第12回	第35課 その2
第13回	第36課 その1

第14回	第36課 その2
第15回	第30課～第36課の復習
第16回	定期試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	【予習：1時間】文法事項や語彙の確認
【復習】時間・内容	【復習：2時間】指定箇所の暗唱またはディクテーション

成績評価	
評価基準・方法	授業態度・授業への参加（60％）と、定期試験（期末試験40％）によって成績を評価します。 授業への参加度は出席回数と小テスト（暗唱またはディクテーション。第二回以降、毎回実施）で評価します。
フィードバック方法	暗唱テストの成績は毎回その場で提示します。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	反転学習／実習、実技、実験、フィールドワーク
教科書/参考書	佐藤純一著『NHK 新ロシア語入門』NHK出版、2001年。
受講上の留意点等	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が極めて重要です。できるだけ欠席しないように努めてください。欠席分の挽回は相当の努力を要します。 ・授業開始時に小テストを行います。遅刻した場合は0点となることがあります。 ・この授業は予習・復習が不可欠です。授業時の指示に従って必ず予習・復習をしてください。
JABEE	